

【議事】 今後の周産期医療体制等に係る課題・論点について

資	料	2
令	和	4
岩	手	県
体	制	等
検	討	部
会		

・ハイリスク妊娠・分娩への対応

- リスクに応じた機能分担は現在の体制で十分か
- そもそも妊婦がハイリスクとなる要因を低減するため、医療体制としてできることはあるか

・周産期救急搬送への対応

- 妊産婦の救急搬送が増加する中、現行の周産期救急搬送コーディネーター事業の運用上の課題・改善点はあるか
- 救急搬送時の「いーはとーぶ」等による情報連携をさらに強化するには何が必要か

・妊産婦への支援

- 妊産婦のメンタルヘルスに問題がある場合、産科・市町村・精神科の連携をさらにスムーズにするために何が必要か
- 広大な周産期医療圏のもと、分娩取扱医療機関が年々減少し、通院等にかかる負担軽減（アクセス支援）の必要性がさらに高まっている
- 産前・産後ケアの充実に向けてどのような対策が必要か

【議事】 今後の周産期医療体制等に係る課題・論点について

- ・ **産科医等、医療従事者の確保・育成**

- 医療従事者の確保
- 医療従事者の人材育成の一層の推進

- ・ **助産師の一層の活躍促進**

- 院内助産・助産師外来を導入する上での課題は何か
(先行研究での指摘)
- ・ 病院においては有リスク分娩が多く、助産師の分娩関与が少ない
- ・ 混合病棟下において助産師も多忙を極め、スキルアップにかかる時間がとれない
- ・ 産科医、新生児科医、助産師の制度理解の促進、連携